

「日々の理科」(第 383 号) 2015 (H27), -7, 21

## 「太陽系をゆっくり眺める (2)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

今回は、7月19日の日没後、西の空に見られた「太陽系の美しい姿」をご覧いただきたいと思う。



### 「雲が晴れて見え始めた太陽系の仲間たち」

北軽井沢 (北軽井沢小学校裏) 2015, -7, 19 / 19:40 頃

ニコン D40 (天体写真専用にレリーズ改造) 50mm f2.0 ISO:400 1/15 秒

左から三日月・金星・木星。薄く雲がかかっているため、月がベールをまとっているように見える。



## 「西の地平線に沈む寸前の三日月と惑星」

北軽井沢（北軽井沢小学校裏） 2015, -7, 19 / 19:40 頃

ニコン D40（天体写真専用にレリーズ改造） 50mm f2.0 ISO:400 1/15 秒

左から三日月・金星・木星。薄く雲がかかっているので、月がベールをまとっているように見える。木星の右上に小さく写っている星は、しし座のレグルス（1.4等）である。衛星・内惑星・外惑星・恒星が一度に見えた。

このあとそれぞれの天体は、30分も待たずに、森の向こうに沈んでいった。一緒に観望していた友人は、天体の動きの意外な速さに驚いていた。こうしてゆっくりと太陽系の姿を眺めるのは、実に豊かなひと時である。自分も、澄んだ大気を持つ地球という惑星上にいることを、もう一度思い出させてくれた。今回の天体は、いずれも非常に明るいので、東京でも十分に見えたはずである。こういうイベントを、学校の屋上で、どんどん開催しないといけないと思った。